

Radwaste Solutions

日本語版

第10巻、第1号
2003年1-2月号



ウエストバレー実証計画における空キャニスター操作の監視。ウエストバレーでのガラス固化プロジェクトの完了については、記事「ウエストバレーでの米国初のガラス固化計画が成功裏に終了（日本語版未収録）」を参照。

ヘッドライン（日本語版収録）

・ヘッドライン headlines

最新号の産業界ニュースです。

特集記事（日本語版収録）

・合意の模索：デコミッショニング・プロジェクトのためのフリーリリース基準

Eluding Consensus: Free Release Standards for Decommissioning Projects

アメリカ原子力学会「サイト浄化・修復標準に関する特別委員会」の後援によって作成された本記事は、フリーリリース基準に関する問題、進展、および限界と、デコミッショニング・プロジェクトとコストに与えるその影響をまとめたものである。

一般記事（日本語版収録）

・放射性廃棄物処分における可逆性と回収可能性－パート2

Reversibility and Retrievability in Radioactive Waste Disposal - Part II

決定を覆したり廃棄物を回収したりできることは、処分場計画の意思決定過程に直接関係するので、可逆性と回収可能性の問題は最近注目を集めている。

・長期管理：英原子力公社による廃棄体容器のライフタイム管理－中間貯蔵とそれ以降

Long-Term Care: Managing UKAEA Waste Package Lifetimes - During Interim Storage and Beyond

廃棄物処分場が英国にいつでもできるか不確かな状況で、英原子力公社は、放射性廃棄物を封じ込めて管理するだけでなく、廃棄物が入っているステンレス製容器が貯蔵中に劣化しないことも保証する必要がある。

その他の一般記事（日本語未収録分）

・トカマク核融合試験炉の解体終了：核融合の歴史の一章に幕

The TFTR Is Cleared Away: A Chapter's End in the History of Fusion

プリンストン・プラズマ物理研究所は、2002年9月に、トカマク核融合試験炉の解体と除去を完了した。

・アイダホ国立工学・環境研究所の使用済み燃料、30年間の湿式貯蔵を終え乾式貯蔵へ

After 30 Years in the Canal: INEEL's Spent Fuel Moved from Wet

アイダホ国立工学・環境研究所が、リスク低減への取り組みを実証する。

・ウエストバレーでの米国初のガラス固化計画が成功裏に終了

Powering Down at West Valley: Nation's First Vitrification Program

2002年9月5日に終了したウエストバレー実証計画は、米国初の高レベル廃棄物ガラス固化プロジェクトとして成功裏に終了した。

・ホットな樹脂、ホットなフィルター、一定の換算係数

Hot Resin, Hot Filters, and Constant Scaling Factors

高放射能廃棄物から代表的な試料を得る方法をいくつか紹介する。線量率や経験的な換算係数との比較によって、試料が代表的であることを検証する方法にも触れる。

表紙の写真

メインヤンキー・デコミッショニング・プロジェクトにおける解体瓦礫。廃炉を行う電力会社は、固体物質の放出について正式なNRC指針が存在しないことを懸念している。本記事の特集記事は、この問題を多面的に論じる（写真はビル・プライアント氏が撮影、メインヤンキー原子力発電所の厚意により複製）。

次号の特集

輸送 Transportation